



発行  
福井県大野市役所

編集 大野市役所  
総務課 係  
報 九〇〇三  
九〇〇二  
九〇〇一  
三

印刷 印刷所  
所 所  
校 浦 印 刷 所

# 式辞



(祝賀式全景)

本日大野市制実施の祝賀式を挙  
行致しました処、県知事殿を始め  
市内外より多数来賓の御来臨を辱  
うし、極めて盛大に而も有意義に  
開式出来ます事は当市の光栄これ  
に過ぎるものはありません。茲に  
謹んで御礼申し上げる次第であり  
ます。惟うに市町村制布かれて茲  
に六十有余年、輝く業績と栄ある  
歴史を遺しつゝ、国家行政機関の末  
端組織として、その任務を果し来  
たのであります。近時経済規模  
の拡大、社会組織の複雑化、生活  
文化の向上等に依りまして市町村  
の行政内容も複雑多岐となり従つ  
て、より高度の行政能力と行政技  
術を必要とし豊富で強靱な固定財  
源の確保が絶対条件となつたので  
あります。

加うるにこうした必然的時代要請  
の外に交通機関の進歩発展、通信  
網の充実等により地理的距離が著  
しく短縮されましたので六十有  
年前に区割された市町村の規模は  
今日に於ては餘りに狭小で早晩変

更なるべき運命にあつたのであり  
ます。

こうした時代の進運に鑑みまして  
大野町を中心とする関係町村の間  
に合併の気運が生れ、昭和二十七  
年大野市制研究会が誕生して着々  
調査研究を進めて来たのでありま  
す。

時恰も昭和二十八年九月一日町村  
合併促進法が制定されましたので  
、この転機を捉え本年初頭大野市  
制促進協議会を結成し愈々本格的  
に本問題と取組み、幾多の難問題  
を解消しつゝ、遂に本年七月一日大  
野市制の実現と相成つたのであり  
ます。

勿論茲に到るまでには県御当局の  
適正な御指導のあつた事は申すま  
でもありませんが市制促進協議会  
委員諸氏の御活動と議員諸氏の御  
協力、市民諸君の御声援等関係者  
各位の涙ぐましく御背折は到底筆  
舌に尽し得ないものがあるのであ  
りまして、その御功績は大野市の  
発展と共に燦として光輝を放ち、

子々孫々その偉業を称えるものと  
信じ茲に謹んで満腔の敬意と深  
甚の謝意を表するものであります  
。所望の大野市が目出度く実現致  
しました。私は四万五千の市民諸  
君と共に哀しみ喜びに堪えない  
のであります。然し乍ら静かに脚  
下を照顧する時、建設五ヶ年計画  
の実現を初め幾多解決すべき諸問  
題を控えて前途は曠ろの道が横  
たわつて居るのを感じるのであり  
ます。之を切開いて真に幸福な花  
園へ到達する為には市民諸君が一  
致団結、凡ゆる苦難を克服して邁  
進する決意と覚悟が必要だと信ず  
るものであります。私は老罷に鞭  
ち畢生の努力を傾け市政の合理化  
能率化を図り清新明朗な市政の実  
現を期し以て市民諸君の要望に応  
える覚悟であります。

希くは来賓諸賢並に市民各位に於  
かれては常に大野市の発展に思を  
致され、小異を捨て、大同につき  
円満な市民性の涵養と市政の伸展  
を期される様、格段の御協力と御  
指導を賜わらん事を切望するもの  
であります。

本日の式典に際し今日まで寄せら  
れたる各位の御功績と御努力に対  
し重ねて敬意を表し併せて一言決  
意と希望を述べ式辞とする次第  
であります。

昭和二十九年十一月一日  
大野市長 斎藤重雄

大野都市計画大野土  
地区劃整理委員  
任命さる

十一日百付  
委員 井部 一 敏  
乾 保  
稲津 忠右衛門  
尾崎 弥右衛門  
加藤 哲次郎  
桑野 幸 蔵  
近藤 又右衛門  
指岡 金 也  
布川 豊  
松原 長左衛門  
松田 実 夫  
村上 仁 作  
山本 憲 二  
四方 憲 二

書記 山田 諭  
大野市教育委員会へ駆動を命ずる  
十月十四日  
佐子 富子  
大野市書記補に任じ総務課勤務を  
命ずる  
十月十八日  
山川 美代治  
大野市主事に任じ五箇支所長を命  
ずる  
十月二十一日  
技師 奥田 外来雄  
願に依り職を免する  
十月十八日  
多田 省 二  
大野市技師に任じ富田診療所勤務  
を命ずる  
十月十八日  
千田 巧  
大野市技手に任じ農務課勤務を命  
ずる  
十一月四日  
常見 一 英  
主事に任じ大野市議事事務局長を  
命ずる  
大野市議会議長 松田 実 夫

市醫嘱託

西一番 広瀬 竜次郎  
五番 白井 泰 蔵  
西四番 辻 稔  
東一番 齋 藤 馨  
東一番 九 岡 清  
下中野 高井 八兵衛  
稲郷 白 崎 進  
板橋 研 司  
竹田 鏡  
山川 晋  
伏石 上打波  
山 川 晋

市辞令

前取入役 竹原勘兵衛  
願に依り職を免す  
九月一日

市民税第三期  
納付期限

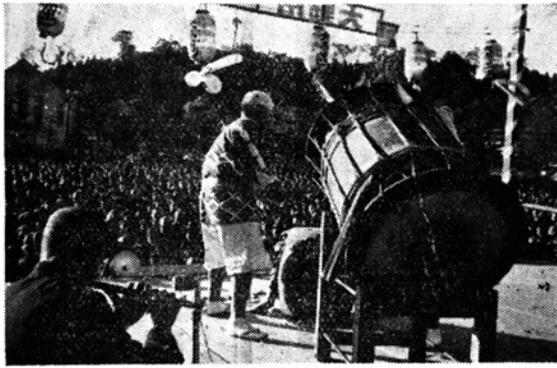
市民税第三期令書を発行しまし  
た。納期限は十一月二十五日限り  
です。こそつて完納いたしましたよ  
う。尚前期分未納の方は併せて完  
納して下さい。



### 躍進大野市の前途明るく 全市あけて合併を祝う

合併を祝う市制祝賀行祭は十月三十一日消防団の結団式の前日祭で幕は切り落され十一月六日迄多彩に催された。に天竺なる大野市は、現の信仰厚きに感銘せられ特に数多の高弟を差し使はされ大野誕生の御祝をせられるかたじけなき感

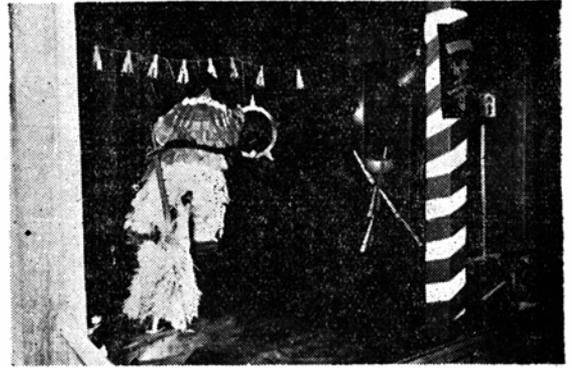
大野市は、現の信仰厚きに感銘せられ特に数多の高弟を差し使はされ大野誕生の御祝をせられるかたじけなき感



みなり、此の上は、大野市は、現の信仰厚きに感銘せられ特に数多の高弟を差し使はされ大野誕生の御祝をせられるかたじけなき感

### 茂久録

一、松大木(根諸共) 宥貨車石の品越美線絳由にて、吉田首相小幡知事同僚大工、棟梁以下職人共一同、大野市制祝賀の御祝に参上仕り候幾久しく御受納下され度候

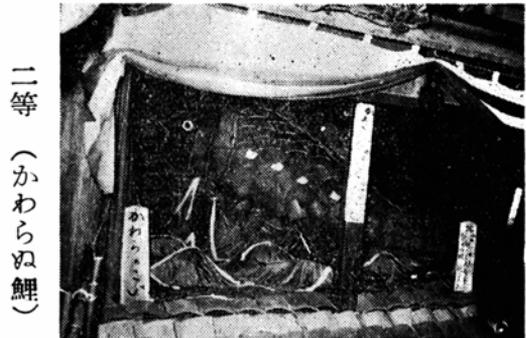


一等 (天の岩戸)

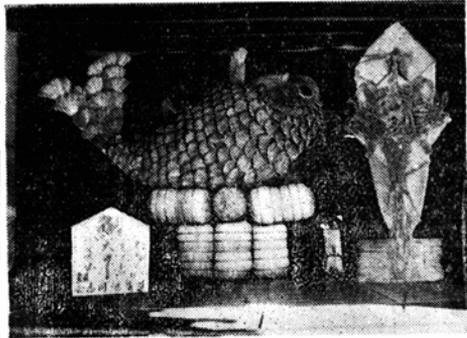
### 思付競技大会

- 一等 曙区 天の岩戸
- 二等 二番下区 変らぬこい
- 三等 高蒲池 鯛
- 佳作

- 五番上 平和和田園都市
- 七間 多幸の舞
- 三番上 新生天野
- 春日五 弥次喜多
- 新町 桃太郎誕生の場
- 三番下 大の里十俵入り
- 神明下 二町六ヶ村名標模写
- 三番中 職情の股くぐり



二等 (かわらぬ鯉)



三等(菖蒲池区の鯛)

### 曲太鼓

- 団体
- 一位 粟津組
- 二位 福井 永井組
- 三位 福井 吉田組
- 四位 四箇浦 海濱組
- 五位 福井 水野清組

- 個人
- 一位 永井末作
- 二位 日元一郎



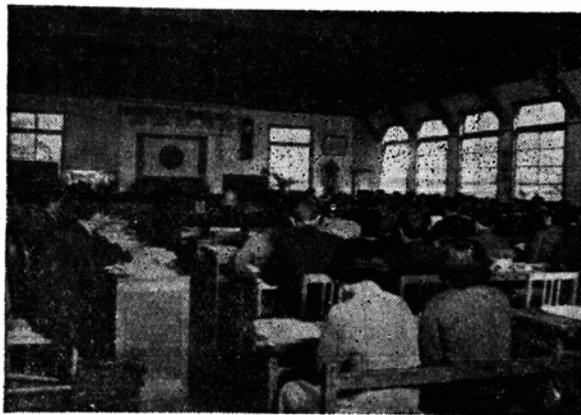
(消防団放水演習)



(七間全区各国代表)

### カーニバル 競技大会

- 審査員 前田先生、堀先生、小原先生、屋野先生
- 一等 該当なし
- 二等 七間全区 各国代表
- 三等 郵便局 おどり宝船
- 四等 狐の嫁入り
- 五等 横下区 武者行列
- 六等 三番銀座 各国代表
- 七等 木木大西出 四十七士
- 八等 専問店会 大野踊
- 九等 五番上 人生行路
- 十等 大野信用金庫 維新の官軍



秋晴に咲く縣下公民館大会

第五回県公民館大会は十一月五日の両日に亘り大野市大野公民館ホールで県教委千田教育長を初め久我社会教育課長、斎藤大野市長大野市日井教育委員長等多数の来賓参列の上県下公民館関係者百七十余名が集つて開かれ、笠島県公民館連絡協議会長の挨拶に始つて来賓の祝辞の後、都市、農村、漁村代表の公民館活動の報告、新しい公民館活動のためにとり上げらるべき問題点とその対策等について真剣な討議が行われた。此の結果本大会の名において公民館運営費の増額、起債認可のワクの拡大等要請することを決議、町村合併にともなう公民館の運営対策として合併促進協議会を組織する場合は委員に社会教育面に理解のある人を加えてほしいと多数の発言が行

われ参考意見として要望することになった。なお名古屋大学佐藤道太郎教授の「公民館活動と民主主義の問題について」と題する講演は新鮮な考

を伝へ半神宗の開拓として今も世の宗祖として崇敬されて居るのである。人は静室に佇りて精神を落着け一心に心を練る時は何処よりか神来りて不可解事を教へるが如く其の事を辨するのである。今や世は挙げて機械文明の全盛時

# 無題

代なり。都会の騒音も漸々吾等が農村にも来り電化に依り千草稲披はモーターで脱穀する快園子となり道路はバス、トラック、自動車宣伝カー等々実にめまざましく吾等小学時代は道行くにも勇然と闊歩せられしも現在は実に戦々顛の注意にも注意せねば交通禍に罹る時代となれり。敗戦以来人心漸々

大なる存在なく為めに世は混濁に化しつゝあるかの如く思惟さる。此時に七百年の昔親鸞聖人の絶叫されし弥陀の本願を信じ只言無兩阿弥陀仏の称名相續に終始せしが如き無二の一大功績というべく斯くしてこそ本存する限り永劫無窮に大衆弘教により日本民族の運の大発展を齎らすと云ふも敢て過

えで関係者に深い感銘を与え、次の会場には釧路市を指定し六日午後三時二〇分意識疎かに大会の幕を閉じた。

## 道路は皆んなのもの 広く使ひましょう

大野警察署

皆さん自分勝手に道路を使用した

非常に騒々しくおびつて交通事故の発生は県下で福井市に次いで大野市と云ふ誠にいまわしい現状にあります。

又物件を道路へ何日も放りだしていませんか。

此の類しい事故をなくするために道路の有効幅員を出来るだけ生かす少しでも広く使うよう心掛けて下さい。

勝手な使用や物件の放置で交通の支障を来たしたり此のために恐ろしい交通事故が起きている例は少くありません。

交通法規では道路における危険防止及び其の他の交通の安全をはかるために道路で左のような行為をする場合には警察署長の許可を受けなければならぬことになって居ります。

お互いが反省し自分の家にはこのようなことがないか今一度確かめて見て下さい。

市街地を歩いて

市街地を歩いて

市街地を歩いて



(写真)は忙し(監定場)

## 葉煙草の収納始まる

翌二月二十日頃には苗床の準備が行われて以来霜害、風水害と心を配りつゝも漸く収納の期に至つた。本年の作柄を尋ねた見たり。高橋耕作課長さんは収納代金支払伝票の作成で忙しく、監定場に入ると技術課長さんとなじみの深い河村監定らが一東一東と監定中で忙しい。監定が終ると量目の検査と包装包装が終ると普通の自動車に満載されて再乾燥場へ送られる。当日迄の成績当三〇〇円から三三〇〇円、反収では六三、〇〇〇円と言ふ大野市へは約九、五〇〇万円の金が落ちられる。それだから田園都市大野の貴重な産業として重視すべきであり専売公社の指導者各位の御芳苦心感謝すべきである

市街地を歩いて

# 桃・栗三年柿八年 実のなる木は楽しみです 良い木を植えませう 果樹の新植について

近年園芸振興の波に乗って各地に果樹の新植をみているが、果樹園の設定に際しては従来の常識乃至慣行は新しい果樹学からみて随分間違っていることが多いので二三気付いたまゝを記して大方の御参考供したい。先づ果樹の種類を選定するに温度は比較的考慮されているが降水量に無關心の方が多いようである。例へば本都は寒いから林檎に適するのではなからうかとよく聞かれるが時期(四月〜九月)の雨量が一〇〇〇ミリの以上の地帯で経済栽培は無理であり単なる趣味からでなく採算を考へれば柿、栗ぐらゐしは無いであらう、荒蕪地、傾斜地で他の作りが出来ないから果樹でも植えたらとよく云はれるが之は全くの間違ひで土が深く地力のある砂質壤土が一般に適地と云へるであらう我が国のやうに雨の多い地帯で



(熊野大権現 大熊の御使)

## (中据区おどりと宝船)



「ロツク」直訳の栽培法をとうとすから直根を切つて瓦礫を入れた穴に植え強剪定、密植と何も彼もが不自然な手段を講じてければ花芽がつかないものである。不自然であるから樹齢も短くなり果樹のように結果年齢に達するまでに時日を要するものはそれだけ相対的に資本の暮る期間が長く成り経済的に損だと云うことになる。柿、栗は三間×三間反当三十三本を基盤にしたい。春植がいいか秋植がいいかの問題は凍みか強い土地は別として普通この辺では秋十一月中旬までに植えて少しでも土になじませて置き春早く根を伸ばさせた方がよからうかと思ふ。植付の十日以上前に所定の場所に直径三尺深さ三尺位の穴を掘り粗

大有機物の(葉、刈草、木の小枝など)堆肥、肥料の順次を満当に上へ挿みながら入れて休ませた処へ苗木を植付ける。この場合先に入れて有機物が腐るにつれて腐敗線にあるようにして苗木の根が概ね地平線に木をゆすつて細土が根の間にも入るようにし(接木の)接合部まで腐土をする。この上に敷葉をして軽く鎮圧する。苗木は尺五寸前後に切返し剪定をして置く。春先凍み枯れる恐れのある処では幹に藁を巻くといふがあまり秋早く巻葉をする上青虫の隠れがとなつて却つていけない。限られた終面で十分意を尽さないが不審の点は農務課の係員乃至改良普及員の助言を待つことにしたい。

## 【ブロック】 建築の開拓村を訪ねて

「ブロック」建築というのは「コンクリートブロック」を用いる組積造の建築物で防火、防寒、防風建物として各地で好評を博しています。敦賀郡公文名開拓農業協同組合でも今春暮下で最初の「ブロック」建築物を試験建築して良い成績を得ましたので私等は農協促進協議会の有志一行と共にこれを視察しました。

元敦賀連隊の射撃場だった公文名に入殖したが、この開拓農業協同組合で現在戸数十五戸、〇町余の既築地を緑ヶ丘農場と名付け、一、二輪二台を所有して営々と開拓を続けている進歩的な組合です。以下西部組合長さんに御指導を頂いた事柄についてそのあらましを御紹介します。

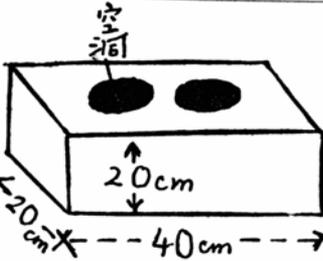
先づ「ブロック」の作り方ですがこれは色とありまして建築基準法に規定されています。公文名で取られている「ブロック」は図の如き規格のもので、

①の五〇容積比で配合しています。必要に応じてこれを一、三、四の比にする場合もあります。型枠には機械打型と手打型とあつて右の材料を水で練合せてこの型押し一日陰干すれば製品になるわけです。

出来上りの重量は一箇当(一、二五比のもの)一貫四〇〇匁位です。この「ブロック」の長所は強くて軽いで中の二つの空洞は外温の緩衝作用をするので防寒防暑に役立つこと等にあるようです。製造能力は機械打で一日(努力五人)四〇〇箇内外、手打で一日(努力二人)一五〇箇内外です。熟練すればもっと能率があかりましよう。セメント一袋で約〇箇の「ブロック」が作られます。

建築の方法は建築士の作った設計に基いてセメントモルタルで目地塗りしながら組積していくので一見レンガ建物の様です。要所には規定の太さの鉄筋を入れ、ますし壁に内外開共セメントモルタルで塗ります。

屋根は現在のところトタン又は瓦で葺いています。



その材料はセメント一に対して砂二石炭がら(五分目篩を通つたもの)

### 自轉車鑑札更新に協力して下さい

大野市発足と共に自転車鑑札を一新しました。各位には之が更新に絶大な協力を賜り衷心より感謝します。

尚未だ更新されない方、無鑑の自転車、用しておられる方、又定額以外の場所に取り付けられている方が若干ある様に見受けられますが十一月三十日迄に更新されるよう、御告します。

十一月一日以降違法のまま、使用される方には地方税法第四百四十九条の規定に依り過料を科せられる事にもなります。念のため附記します。

工事費は公文名の試験建物について見ると、たゞ乾燥室(これに組積した「ブロック」の数は千数十箇で内外側共モルタル塗装を仕上げて約二〇、〇〇〇円、平屋建トタン葺で約三三、〇〇〇円)といふことです。出来上りは非常に綺麗です。特にたゞ乾燥室は温度調節が容易で乾燥成績も良い様です。強度試験の結果も基準以上になつて居るようですが、また県内で建築許可されるまでにはなつていません。石炭がらを原料とする「ブロック」建築の研究は今後も続けられると思ひますが、これが近代建築法としてお目見えする日も遠くないでしょう。

ブロック住宅の築造については強さの度合や環境、衛生、趣向等の点について問題があると思ひますが、たゞ乾燥室、畜舎、堆肥舎、温室等には最適な建築法である。全国開拓者大会に於ても「強風寒冷地帯は「ブロック」住宅として補助せよ」と提案事項の一つに加えられたことと背かれます。

とまれ各地で普及されつゝある現状に鑑み、当地方に於ても早く土地条件に合った「ブロック」建築物が自家生産でもつてとんとん建てられていくことを希う次第です。

【時期を逸せず種付致しませう】

皆さん御承知の様に山羊乳は母乳不足の乳幼児には大変に貴重な栄養源なのです。乳幼児だけではなく大人でも保健衛生上極めて立派なカローリ源といわれましょ。

品名 種 生年月日 血統 産地  
日 本 福牧七 母 福島  
ザーン種 一八、二、二 七〇〇 G五三 種畜牧場  
二、種付料 三〇〇円  
市内の山羊所有者はこの適期を逸さず種付を実施して下さい。

裏作の手引

麦の種子の選び方と品種

麦の収量を多くするには良い種子を選ぶことが大切です。また播く品種によつてつくり方が変わってきますから播く品種の性質を十分知つておく必要があります。  
一、麦の品種の選び方  
麦の品種には早播が出来る品種とできない品種と種類があります。早播きができるのは秋播といつて芽が出てから寒さに合つて始めて種をつくる性質を持つています。早播ができないものは春播型といつて寒さに合わなくても種をつくる性質があるので少し早目に播くと秋の中に種が出てしまつて寒い冬の中に傷められてしまう恐れがあります。  
次に寒さに対する抵抗力、即ち耐

品種特性表

品種名	出穂期	成熟期	小錆病	赤錆病	耐雪	耐寒	耐湿	春播性	特	徴
会津七号	四月二四日	五月三日	強	強	強	強	強	高	極早熟、短稈、多蘖、多収	
会津四号	四月三二日	五月三日	強	強	強	強	高	稍早熟、短稈、多蘖、多収		
北陸一号	五月一日	五月三日	強	強	強	強	高	稍長稈、稍強、春播性稍高		
福井白麦	五月二六日	五月四日	強	強	強	強	中	稈強く多収であるも耐雪性稍弱		
会系六六四	五月二七日	五月五日	強	強	強	強	中	長稈倒伏するが耐雪性強い		
農林二五五	四月六日	五月一日	弱	弱	弱	弱	高	中生、短稈多蘖多収、裏作適す		
農林二四五	四月六日	五月一日	弱	弱	弱	弱	高	早生種耐雪性強いが春播性高		
農林二四五	四月一〇日	五月一日	弱	弱	弱	弱	高	耐雪性強い多収良質、錆病に弱		
農林五四五	四月一〇日	五月一日	弱	弱	弱	弱	高	短稈多蘖耐雪性強多収錆病弱		
会津七号	七月九日	八月二日	強	強	強	強	中	低	早生種耐雪性強いが春播性高	
北陸一号	七月九日	八月二日	強	強	強	強	中	低	耐雪性強い多収良質、錆病に弱	
福井白麦	七月九日	八月二日	強	強	強	強	中	低	短稈多蘖耐雪性強多収錆病弱	
北陸一号	七月九日	八月二日	強	強	強	強	中	低	早生種耐雪性強いが春播性高	
福井白麦	七月九日	八月二日	強	強	強	強	中	低	耐雪性強い多収良質、錆病に弱	
北陸一号	七月九日	八月二日	強	強	強	強	中	低	短稈多蘖耐雪性強多収錆病弱	



横下区 (武者行列)銀座通り行進



(市制祝賀の第五日目に大野競馬場にて)行われた祝賀競馬のパン食い競走

# 田園都市

## 大野市発展の基盤となるものは

紅葉の秋も早や過ぎ節足の風と共にいよいよ冬到来の感がします

大野市発足以来市長を中心に四万五千の市民が一致協力し日一日と着実たる歩みを見せている事は誠に御同慶に耐えませぬ。これは市長の偉さもさる事ながら市民各位の賢明なる識見と遠大なる理想に依るものであり喜ばしい限りであります。

市の発展は市民各位の燃えるが如き熱意と絶大なる協力がなくては求める事が出来ませぬ。全く新大野市の健全圓滿なる発展は市民各位の双肩にかゝつてゐる

# 『植林の将来性』

愈々秋の植林季節になりました。今回の風水害は各方面に甚大な損害を与えましたが、是は山林の木材による森林の荒廃が大きな原因ではないでせうか、私共はこの際植林によつて治山治水の實をあげて国土保安の聖業を成就しなければならぬことを痛感す次第であります。しかしながら植林は国土の緑化とか治山治水とか云う様な公益的性格のみ終始するものではありませぬ。最近に於ける木材価格の騰貴は植林の華かなる将来性を暗示するものであります。思うに木材はその生産に数十年要するものでありまして一朝一夕には出来ない貴重な素材であるにも

農道一本つけるにも用水路を改修するにも小、中学校の建設にも又区画整理を成すにもすべてこれ等発展的工事施設を行うにはお金が必要だ。

我が市の発展に必要なそのお金は既に市民各位の税金に依らねばなりません。税金を完納してもらわなければ市は円満なる發育をなしません。納税に付きましては市発足と共に各位には一段と発展的協力を得、益々其の實を擡げておりますので誠に感喜至極であります。然し易く冷めやすい日本人の習性を打破し新市発展の為に益々協力をせられん事を切望いたします。市長はじめ市會議員が鳩首協議し如何に立派な市政方針を立てようと、これを遂行するに必要なお金

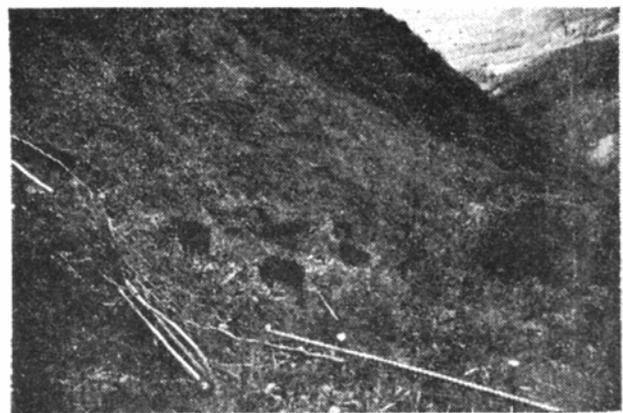
〇〇円で売却するものとして二六万円の立木代を上げることが出来ます。是に要する造林費及金利等を計算すると造林費は地帯、苗木代下刈手人等を二十年間行い人夫費三五〇円として計算しても一七万五千円になり金利は年五分の複利計算で苗木代を含めても七十一万円程度となります。これを合計すれば一町歩当の四十年間に要する造林経費は大体八八万五千円となります、これを素材売却代金二六万円より差引一二七万五千円の純益を予想しうるのであります。今後の木材の価格の上昇を考慮に入れるならば植林による収益は驚くべき巨額に達するものであります。かゝる上からも植林に対する将来性を再認識され積極的な造林のお勧めを致します。

がなくては机上の空論です。既に市の発展は市民各位の双肩にかかつてゐるのです。納税義務者市民のハラの持ちようです。大野市の発展が左右されるので、他所の市ではありませぬ、我が市です。我が市の発展の為に金市民こそつて税金を完納し立派な大田園都市大野市を築き上げましょう。即ち大田園都市大野市の発展の基盤となるものはそれは税金の完納以外にはない。賢無果生

# 大野市小黒見牧野現況

水稲単作農業経営の不合理な事を知るや水稲を中心とする多角的有畜養を計画、昭和十一年頃から四頭五頭の放牧を計画したが一時軍用馬の波にあふられて下火となつていた。終戦後二度其の計画を夢みて昭和二十七年一月に事業計画を樹て、昭和二十八年春より第一次計画として牧野一〇町歩探草地五町歩の面積にレットクロバ、ホワイトクロバ、オ、チャド、ケ

ニヤアカシヤ等種々家畜好の牧草飼料木が空閑なく播種して第二次計画は五町歩の探草地が計画実施され果下三ヶ所の農林省指定管理牧野の内に定められた其の内で二位と下らぬと言われている現在二十五、六頭の和牛が第二次牧野(牧野入口の方)には幼牛、第二次牧野の方には成牛が放牧されている。茂々と繁植した牧草を家畜は思ひのまゝに飼つて居る。飼つて居る家畜より骨組が堅く肢路が頑丈に出来て粗食粗放に耐え易い牛として喜ばれて居る。明治初年大野は畜産の生産地として全国的にも和牛は金山仔として肢路の堅いこと粗放に



(群をなして放飼する和牛)

耐えるので有名であった。その名を取り戻す為に地元農協同組合は力をこめて入れている、理想の牧野となる迄には数年経るであろう。立派な牧野になれば乳牛の生産も計画し、牧野も牧野及雑草を牧草に改良し飼料費が安く農家経済面に助けとなるのを希望してゐます。小黒見牧野の概況

# 金森長近公の

## 人と爲り

「現わさんとすれば隠れる、隠ざんとすれば現われる」これが世の中の現実であります。金森長近公の生涯を伺いますに、その人となり後者型でないかと思ひます。千軍万馬の武將でありましたことは誰しも知っているが遠大な経世家であり先覚者であることは餘り世に知られて居りませぬ。而も自らはその功を誇らず他に譲る人でありました。織田信長に仕え豊臣秀吉に仕え生涯五万石以上の禄を食んだことはありません。高禄は他の將士にこれを与えるよう希望した人でありました。加賀百万石の前田利家の如きも実は長近の幕下でありました。公は常にその殊功を秀吉に上申し、その出世を喜んだというのであります。晩年封を辞し禅と茶とに親し専ら内心を養うことに努めました。時の將軍徳川家康は、その嵩高な仁徳を追慕してやみませぬ。

大野たて始めて以来空前の立錫の餘地なき壮大な計画のもと、合併ならでは味わう事の出来ない豪華多様な一大絵巻を展開した。天その意を願し下されたか甲分なき晴天の秋空のもと相次ぐ行事で、どれこれと云う呑気な気持では居られない位、多忙であつた。四万五千の祝賀意気一点に集中し此のより上熱と意気とをもち意欲ある祝賀を契機とし愈々市建設のつち音も高く立ち上らなければならぬ。田園都市の性格のと農工商業の発展を期して待つべきものがある。四万五千一人の落伍者もあつてはならぬ若しあるとすれば相助けに行かねばならぬ、市建設は一人に人の和より外にはあるまい。此の意味に於て人の和を絶とし市報を緯として進まんことを希求してやみませぬ。



菊香かおる霜月を朴して行われた御めでたい市制祝賀祭は延々六日間亘つて繰り広げられた

し毎月一、二回は必ず長近公の室を訪い編交を結んだということでありませぬ。当時いやくも天下の將軍がかゝる少無縁の草堂を訪ねる如き餘り例のないことでありませぬ。「隠れんとすれば現われる」とは、この森辺の消息を示したものであります。

以下次号に続く  
金森長近公遺徳顕彰会